

シーエスケイ

切板営業、鉄骨図面作成、工事請負

「熊谷営業所」軌道に

業務効率、採用促進など利便性高まる

厚板溶断加工業大手のシーエスケイ（本社・群馬県邑楽郡千代田町大字木崎、社長・坂本純一氏）は、切板営業および鉄骨

の図面作成／工事請負などを手掛ける事業拠点として埼玉県熊谷市内に立ち上げた「熊谷営業所」の業務基盤を強化した。本社に在籍していた営業部隊を熊谷に集約し、10月から新体制がスタート。これに先駆け図面部隊は4月に移管を終えており、勢で26人の陣容となつた。

今秋、移管・集約完了

る鉄骨図面作成および工事請負などを手掛けた「工務チーム」、そのほか種々の業務・庶務を担う「熊谷営業所」の3チームで構成する。

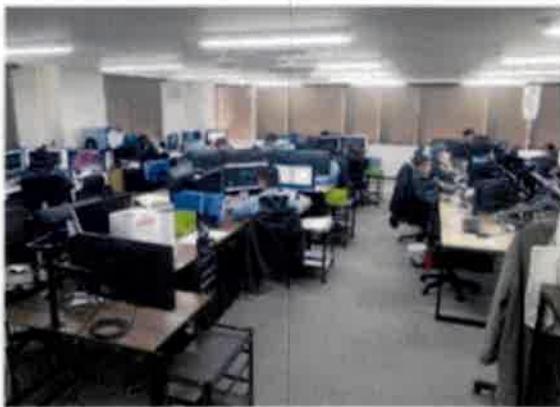
同社は邑楽郡千代田町や太田市新田木崎町をはじめ群馬県東南工

リ亞に事業拠点を点在。グループ会社もこの界隈に立地する。

熊谷営業所として立

も困難となつていて。

これらボトルネックを解消し、業務効率化や時短、採用促進に適した新たな拠点を物色。熊谷駅前のテナントビルの一角を賃借し



鉄骨CAD・工事部隊や営業チームらが集約するフロア

D (REA)
L4) によ



熊谷営業所が
入るテナント
ビル

とする厚板の切板営業全般を手掛ける「営業チーム」と鉄骨専門のチームによって主に営業活動を行なつた経緯がある。

当初は本社をはじめ既存拠点と熊谷との並行運用からスタートしたが、まずは今年4月に「工務チーム」が熊谷に全面移管。10月には営業部隊も集約し、現体制を整えた。併せ

販売エリアや取引先、顧客も広範囲となり、それに伴つて営業スタッフの移動に掛かる時間や時間が増大。さらにはマンパワー強化に向けた新規人材の採用

で4月からは熊谷営業所としての人材募集中も開始したが、好立地・好アクセスが寄与してこの半年強で計12人を採用している。

営業活動面でも従来に比べて公共交通機関の利便性が高まり都心や上信越、東北など各地への効率的な移動が可能となつたほか、首都圏から打ち合わせ等で訪れる来客も大幅に増えるなど開拓メリットを享受している。

2024年12月13日(金)掲載
鉄鋼新聞